



2020年12月22日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 光 陽 社
代 表 者 代表取締役社長 犬養 岬太
(コード番号 7946)
問合せ先責任者 取締役業務本部長 富 正俊
(T E L 0 3 - 5 6 1 5 - 9 0 6 1)

事業の現状、今後の展開等について

当社グループは、下記のとおり、事業の現状および今後の展開等について、株式会社東京証券取引所に対し、同社有価証券上場規程第601条第1項第4号aに定める書面を提出いたしましたので、お知らせいたします。

本書面の提出により、2021年6月末日までのいずれかの月において、月間平均時価総額および月末時価総額が10億円以上になった時は、同上場廃止基準に該当しないこととなります。

記

1. 事業の現状について

(1) 経営の基本方針

当社グループは、お客様に喜ばれる“良いものづくり”を通じて、社会の進歩発展に貢献すると共に、全従業員の働きがいと幸せを追求することを経営理念とし、その行動指針を以下のように定めております。

誠実 常に誠意をもって人に接する

創意 常に創意工夫を志す

確実 常に確実に職務を遂行する

(2) 当社グループの事業の内容

当社グループの主な事業内容は以下の通りです。

①製品制作部門

デジタル対応の画像処理技術を核とした、オフセット印刷用写真版、ディスプレイ、映像・マルチメディアコンテンツ制作

②印刷部門

企画、デザイン、DTP制作のトータルフローを構築し、カラーマネジメントを核とした印刷、加工、アッセンブリ、納品までのワンストップサービスの提供
絵本の印刷、製本、配送

③商品

ビジネスフォーム、伝票、封筒、帳簿等の企業の印刷物及び印刷に関する消耗品等の販売

(3) 当社グループの事業の現状

当社グループは、2011年3月期以降、安定的に利益を計上し、従前に比べ収益構造が改善しており、2019年6月には、21年ぶりに期末配当20円を実施いたしました。

当社グループの中期経営計画（2019年度～2021年度）は、当期で第2年目となります。

2021年3月期第2四半期連結累計期間において、当社グループは、お客様のニーズに応えるべく、抗菌加工印刷を施した商材等を投入するなど営業力・提案力の強化を図るとともに、生産効率の向上、内製化の推進、収益性の改善に取り組んでまいりました。一方、市場では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う経済活動の収縮、イベントの自粛、訪問機会の減少により営業活動が限定的となりました。また、工場におきましては受注減少に伴い稼働率が低下いたしました。

この結果、2021年3月期第2四半期連結累計期間における売上高は16億79百万円（前年同四半期比21.2%減収）となりました。その内訳は、写真製版売上高3億6百万円（前年同四半期比37.6%減収）、印刷売上高13億53百万円（前年同四半期比16.0%減収）、商品売上高19百万円（前年同四半期比29.6%減収）となりました。損益面につきましては、営業損失1億11百万円（前年同四半期は営業利益10百万円）、経常損失69百万円（前年同四半期は経常利益23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円）となりました。

(4) 業績の推移及び概況

当社の業績の推移は、下表のとおりです。

（単位：千円）

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	4,189,149	4,315,545	4,299,465	4,456,409	4,302,024
営業利益又は 営業損失（△）	90,401	122,826	145,407	93,006	△13,616
経常利益	90,688	143,317	176,487	130,572	9,800
当期純利益	45,402	932,324	459,724	149,785	36,221
純資産額	1,071,031	2,003,503	2,565,942	2,324,833	2,338,216
総資産額	3,413,068	4,428,558	4,489,065	4,176,953	4,068,192

（注）2020年3月期より連結財務諸表を作成しております。

2. 今後の展開について

当社グループは、以下の経営戦略を確実に遂行し、業績の回復、企業価値の向上に努めております。

(1) 経営戦略

①営業戦略（リモートワーク等も活用した新規開拓及び既存顧客深耕の推進）

- イ 印刷ワンストップサービス、プリントマネジメント提案
 - (a)企画・製版・印刷・製本加工・発送に至る自社内ワンストップ体制を活かした提案営業
 - (b)印刷コスト・品質・納期・発注業務に関するトータルソリューションを提供するプリントマネジメントの提案営業
- ロ 長年製版で培ったスキルを基にした高品質印刷技術の提案
環境対応型高品位印刷ソリューション・広色域印刷・立体撮影サービス等の提案営業

②品質・生産性強化、コスト削減策

- イ S D C Aの標準化サイクルを回して品質・生産性の向上を図る標準化プロジェクトを推進する。
〔S : Standardize（標準化） D : Do（実行） C : Check（評価）
A : Action（処置・改善）〕
- ロ 2019年8月に導入した従前の約2.5倍の生産能力がある最新鋭のUV両面8色印刷機により生産性を強化し、外注に依頼していた仕事の内製化、自動化装置による作業時間の短縮等により、市場が求める顧客要求（品質、価格、短納期）に応えることで売上と利益の向上に繋げる。
〔UV : Ultra Violet（紫外線）〕
- ハ パイピングシステム（インキ自動供給システム）によりインキの補充作業を自動化し、生産効率の向上を図る。
- ニ 高品位印刷ソリューション「The Favorite 2」により、更なる品質の向上と環境負荷軽減を図る。

(2) 子会社2社

2019年4月より、下記子会社2社を設立し、事業の基盤の充足、内製の充足を図っております。

①株式会社ニコモ

クリエイターの作品により子供たちや親たちを笑顔にする事、子供たちの興味や関心を広げる事、クリエイターの才能を開花させる場所を提供する事を目的とし、誰でも絵本の出品・試し閲覧・購入が安心かつ簡単にできる絵本サイトの運営を行い、絵本の小ロット（1部～）印刷、製本、配送を行っております。現在、海外版の絵本も販売しており、SNSの利用等を活用し、販路を拡大しております。

②株式会社ノコム

印刷業界で、知見、経験などノウハウを有する優秀な人材を集め、顧客ニーズに的確に応える専門家集団による印刷物の製造、販売を行っております。2020年度より体制を充実し、販路を拡大しております。

3. 今後の見通し及び上場維持について

当社グループは、2021年3月期連結業績予想につきましては、売上高3,754百万円（前期比5億48百万円減少）、営業損失1億32百万円（前期比1億19百万円減少）、経常損失34百万円（前期比43百万円減少）、親会社株主に帰属する当期純損失43百万円（前期比79百万円減少）を見込んでおります。

当社グループは、収益性の改善ならびに財務体質の健全化を推進し、企業価値の向上を図り、東京証券取引所における上場を維持するよう努めてまいります。

以 上